

第 2 回次世代ネットワークサービス講座の報告

小山教室(塾) 6 回シリーズ

平成 19 年 7 月 21 日
NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ

日時: 平成 19 年 7 月 21 日(土) 受付:13:00~13:30 講演:13:30~16:10

会場: 奈良県文化会館 2 階 集会室 A

参加者:31 名 (内訳:自治体 7 名、企業 8 名、一般 16 名)

講演 1:ユビキタスネットワークを活用したまちづくり 13:30~14:30

【講師】:吉川 充氏 (奈良県土木部道路維持課 主幹)、北峯 博司氏(同 調整員)

【概要】:まず、国土交通省が進めている各地での自律移動支援プロジェクトの推進状況について、15分間のDVDによる解説があった。ユビキタスコミュニケーターによって、国土の電子化を推進する。最先端の技術であるユビキタス・コンピューティングは、マイクロチップを使用して、物を自動的に場所として認識することが現実のものとなった。ユビキタス対応の冷蔵庫では、問題の食品の履歴をチェックして水際でピックアップできる。ユビキタス情報では、マイクロチップをあらゆる場所に埋め込んで場所情報を知る。時間と場所によって物の価値が変わる。応用範囲は非常に広い。16年度から実証実験を開始し、18年度は全国の8地区で実証実験を行い、そのうちの1つが奈良市で行われた。今年も、10月、11月に実用化に向けた実験を計画している。20年度から、可能なものから順次実用化していく。奈良県では、平城遷都1300年記念事業を通過点として、取り組んでいく。



休憩

14:30~14:40

講演 2:話題のコミュニケーション・ツール「SNS」の最前 14:40~16:10

【講師】:茂木 崇氏 (日本電気株式会社 市場開発推進本部 主任)

【概要】:Webサービスの中で、ブログやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)など、消費者発信型メディア(CGM)が急激に浸透しつつある。そんな中、地域活性化という観点で行政や企業もSNS活用に注目している。本講演では、「SNSは地域活性の特効薬となるか」というテーマでSNSの最前線を紹介された。SNSとは、人と人との結び付きが可視化されるサービス=利用者も機能も、より人間関係を重視。人間関係を形成した上でコミュニケーションを行うため、無関係な情報から守られ、各Webサービスを安心して利用できる。SNSの特徴は、人間関係を見える化する機能である。2007年以降、SNSの延べ登録者は拡大が予想される。SNSは増殖していく。中小規模SNSの領域として、海外交流、企業間/内、地域活動、教育系などの可能性がある。地域SNSは地域活性化のきっかけを作る。奈良県にも、奈良SNSの1つだけ運営されている。自治体においても、まだ少ないが地域SNSを運営しているところがある。



【講師のプロフィール】

茂木 崇(もてぎ たかし) 日本電気株式会社 市場開発推進本部 主任
1999年慶應義塾大学卒業後、同年日本電気株式会社(NEC)入社。現在、Web2.0 やユビキタスをテーマに、SNS/FeliCa/ワンセグなど先進技術を活用した新しいサービス・ビジネス企画を推進している。

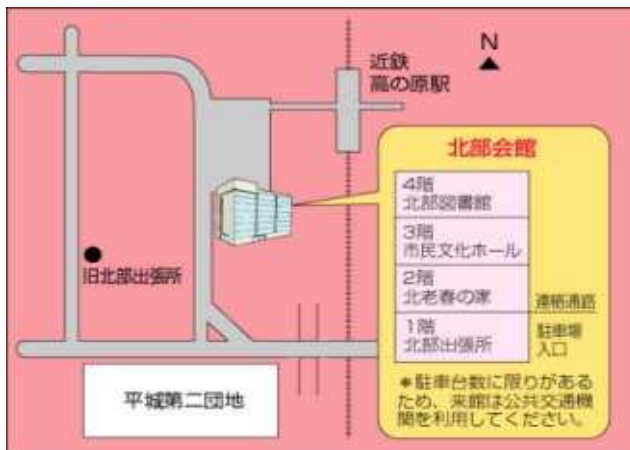
講演風景



第3回次世代ネットワークサービス講座のご案内

第3回 8月25日(土) 13:00 - 13:30:受付、13:30 - 17:00:講演
魅力ある商業空間の形成 (県商工労働部金融・商業振興課)
モバイルパーソナルコンピュータを中心とした最新のPC動向 (松下電器株式会社)

会場:奈良市北部会館 3階 第2/第3会議室
近鉄高の原駅から徒歩5分



主催:

NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)
(<http://e-aac.naist.jp/e-AAC>)

後援団体:

近畿総合通信局、近畿経済産業局、奈良県、奈良県市長会、奈良県町村会、
奈良県中小企業支援センター、奈良先端技術大学院大学、
関西ニュービジネス協議会、IEEE 関西支部

協力団体:

富士通(株)、日本電気(株)、シャープ(株)、NTT西日本(株)、松下電器(株)